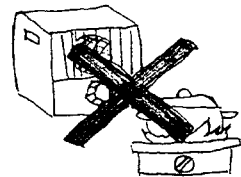


# 万一の災害から 守ろう

## 火はできるだけ使用しない！

- 同時に数カ所で火を使わない。
- ストーブはなるべく使わない。
- 火を使用しているときはその場所を離れない。離れるときは消して。



## できるだけ多くの水を用意する！

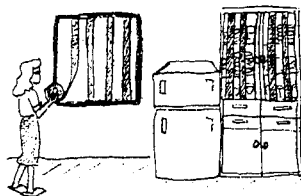
- 飲料水は、1人1日3ℓを目安にして、数日分を。
- 浴槽や洗濯機などにできるだけたくさんのお水を貯えておく。バケツはもちろん用意しておく。



## 家具類の転倒防止と

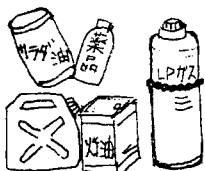
### ガラスの飛散防止を！

- とくに冷蔵庫、ピアノなどの重量物の固定を確実にする。
- 窓、食器戸だななどのガラスには、粘着テープを貼る。
- 食器類を戸だなから出し、安全な位置に整頓して置く。
- ガラスが飛び散らないようにカーテンをひいておく。
- スリッパを用意しておく。



## 危険物の安全確認を！

- プロパンガスボンベの転倒防止を確実に。
- 灯油、ガソリン等の流出の危険を防ぐ。
- その他薬品類や台所の食用油なども安全な位置に移す。



# 警戒宣言が出されたら！！

## 非常持ち出し品の中身の確認！

- かねて用意の物の点検と整備。
- 不足分の追加。
- 持ち出しやすい位置にまとめておく。



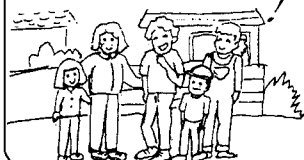
## 一部屋を開放する！

- 空き部屋をつくり、そこで過ごす（とくに乳幼児、お年寄り、病人）。



## 動きやすい服装になり、 近隣との協力態勢をとる！

- 「準備できましたか」などと声をかけあう。
- 衣服は木綿かウール（化纤は避ける）で、長袖、長ズボンがよい（寝るときもなるべくそのまま）。
- 防火などで、とくに老人世帯や障害者のご家庭への協力を積極的に行う。



## 電話の使用をひかえる！ 自動車は使わない！

- 電話のいっせい使用で交換機が故障し、緊急連絡が困難になる。
- 自動車の不要不急の使用は道路を混乱させ、結局、自分も困る。
- 警察官や防災関係機関の指示に従う。



## 消火器を身近に用意する！

- 消火器はつねに目につくところに、取り出しやすい状態にしておく。

